

担当科目	単位数	授業時間	担当講師
看護研究Ⅱ (事例)	1 単位 30 時間	3 年生	専任教員
《学習目標》			
1. 臨地実習での看護の学びを事例研究としてまとめることで看護の理論と実践を結び付け、看護を広く深く追求する態度を養う。			
2. 文献検討を行い、自らの看護を客観的、論理的、科学的に振り返る研究的態度を養う。			
授業内容			備考
1. 卒業研究の目的及び方法 2～3. 研究計画書と文献検討について 4. 研究の取り組みの指導 5～6. 論文作成の指導 7～15. 研究発表			講義 講義と個別指導 個別指導 個別指導 発表会
<b>研究の進め方</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>指定された期間の実習の中で、1 事例選択する。</li> <li>研究計画書を担当教員に提出する。(文献の提示)</li> <li>担当教員に指導を受ける。(2 回以上)</li> <li>卒業事例発表会で発表する。</li> <li>発表後、論文を修正し、「卒業研究論文集」としてまとめる。</li> </ul>			
<b>参考文献</b>			
<b>看護理論</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>湯槇ます：ナイチンゲール看護覚え書、現代社</li> <li>金井一薫：ナイチンゲール看護論 入門、現代社</li> <li>ガーゼニア・ハンダーソン：看護の基本となるもの、日本看護協会出版会</li> <li>アーネSTEIN・ウィーデンバック：臨床看護の本質、現代社</li> <li>ヒルデガート・E・ペプロウ：人間関係の看護論、医学書院</li> <li>ジョイス・トラベルバー：人間対人間の看護、医学書院</li> <li>シスター・カス・ロイ：ロイ適応看護論入門、医学書院</li> <li>ドロシア・E・ホルム：オレム看護論</li> <li>ミルトン・メイロフ：ケアの本質、ゆみる出版</li> <li>薄井坦子：科学的看護論、日本看護協会出版会 など</li> </ul>			
<b>中範囲理論</b>			
病みの軌跡理論、セルフケア理論、ボディイメージ、ストレス・コーピング理論、死の受容過程理論、危機理論、家族理論、発達課題論 など			
《教科書》上記文献を参考にすること。			
《評価》研究論文、論文作成及び発表会における意欲・態度 出席状況			